

やまなし2区と中央をむすぶブリッジ

衆議院議員

坂口岳洋から版

2012 年 新春号



謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年中は公私にわたりお世話になりまして本当にありがとうございました。皆様の厳しくも温かいお言葉にどれほど助けて頂いたかわかりません。今年も激動の年になるでしょう。だからこそ、浮足立たずじっくりと腰を落とし、家族や仲間の絆を一番に考え、皆様とともに一歩一歩進んでまいります。今年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



さて、昨年は我が日本において想像を絶する震災が起きました。災害対策本部の指示がまだ出ない中ではありましたが、私自身居ても立ってもいられなく、3月20日夕方4tトラックで仲間3人とともに岩手県山田町に米や生卵、梅干しなどの物資を運びに出発しました。約14時間かかりました。現地は手つかずの瓦礫ばかりです。しかし、被災者の皆様が温かく迎えてくれ本当に喜んでくれました。保存食しかない中、生卵を拝むように受け取ってくれたおばあさんの姿に言葉がでませんでした。



その後もボランティアの仲間と瓦礫の撤去など、何度も被災地の現場に入っています。私が痛感したのは、やはりまず政治家がすぐに現場に入らなければならない。現場に行き、被災者の皆様の声を直接聞き、肌で感じてこそ、血の通った復旧復興計画ができると痛感しました。これからも現場主義を徹底的に貫いてまいります。



皆様に国会に送り出して頂いてから約二年と三カ月がたちました。そこで、私が感じたことは国会議員というのはそれぞれ得意な分野が出てくるということ。それは、当然政策面もありますが、それ以上に官僚やその分野の専門家との人脈や人間関係の構築が重要です。



私自身、国土交通を得意分野としています。国道交通委員会の委員、また国土政策を推進する議員連盟の事務局長という大役を頂き、幅広い人間関係を作ることができました。地元は、まだまだ生活インフラが弱い。災害対応、観光客の集客、そもそも生活をしていく上で、生活道路やトンネル、河川などを整備していかなければなりません。国会議員一年生である私の最も大切な仕事は、地元でどれほど予算を確保するかであると確信しました。昨年は全国の公共インフラ予算が大幅に減っている中、地元山梨は予算を大幅に増やすことができました。今年も地元の長年の悲願であるインフラ整備の予算確保を全力で行ってまいります。

昨年は、試練の年でした。今年は、その試練を乗り越えて我が日本が世界中を再び驚かせるほどの復旧復興を行う年です。私も地元のため自らの役割を存分に発揮し、わが日本のため、地元のために粉砕砕身頑張っております。

寒い日が続きますが、皆様にはお体にお気をつけ頂くようお願い申し上げます。

坂口 岳洋



2012年 新しい日本の進むべき方向性を確認する！

前田国土交通大臣との 新春対談！

①全国防災について

前田国土交通大臣（以下、国土交通大臣略）

いつも国土交通委員会ではご苦労様です。坂口君。頑張っている様だね。

坂口衆議院議員（以下、衆議院議員略）

はい。大臣。国会開会中もできるだけ山梨にもどり、地元の声や要望を聞いています。また、私の地元は道路や河川整備がまだまだ足りません。国土交通委員だけではなく戦略的国土政策を推進する議員連盟の事務局長として、地元の為に国土交通の仕事に全力を挙げています。



前田 今ほど政府が我が国土を守るという政治の原点を徹底的に見直す時はない。東日本大震災の被災地復興復旧は当然だが、全国の都市部や地域を国がどんな天災があっても守るという、責任と信頼を今こそ国民に示さなければならないよね。

坂口 大臣が示された国土交通省としての基本指針、「持続可能で活力のある国土・地域づくり」ですね。私の地元も、昨年の台風により甚大な被害を受けました。道志村では何日も陸の孤島になり、透析患者が治療を受けることが出来ずに命の危険にさらされました。大臣がおっしゃる安全と安心の確保は、私の地元で最も期待されていることです。

前田 たしか君の地元は、河川の氾濫も注意しなければならなかったね。

坂口 はい、大臣。昨年の台風では、ほぼ全域で河川の決壊寸前までいきました。決壊した河川も多数あります。断線した身延線は未だ全線開通していません。道路などにもまだ傷跡が残っています。国民の命を守ることが、政治家の義務。地元を守るために、日頃からどんな天災があっても堪えることの出来る公共インフラづくり、地域づくりを私は全力で推進していきます。

②経済対策・雇用問題

前田 まず地域が活力を取り戻さなくてはならないね。その為に低炭素型社会の実現こそが、省エネにつながり自然との共生もできる。

坂口 そして地域の雇用をつくる、一石三鳥ですね。私の地元もまだまだ景気は良くなっていません。耐震から防断熱、太陽光など中古住宅流通も含めた住宅市場を拡大すると確実に大きな雇用が生まれます。住宅市場は裾野が広く、多くの関連する産業があります。私にも住宅関連の仕事をしている仲間がとても多くいます。

前田 たしか、坂口君には子供が3人いたね。

坂口 はい、小学6年の長男と小学3年の次男。そして1才の長女がいます。この子供たちの世代が地元で働き生活ができる環境を今から作らなければならない。山梨を将来の不安がなく安心して生活が営める地域にしていきたいと強く思います。

③地域インフラ整備

前田 坂口君の地元は、観光産業が盛んだったね。

坂口 地元には富士山があります。その周辺には富士五湖。石和温泉や桃ぶどうも盛んです。首都圏とも隣接していて、観光地として本当に最高の場所です。しかし、インフラ整備が遅れていて、思うように観光客ができていません。県内の各観光地へのアクセスの悪さ、慢性的な渋滞問題。ツアー会社も中央道などの大渋滞を嫌い、山梨になかなか足を向けてくれないようです。

前田 なるほど。

坂口 私は、山梨こそ首都圏にすむ人たちの癒しの場所にしたいと考えています。仕事に追われて忙しい中、少し時間があったら気分転換に出かける。将来は、首都圏のベッドタウンにしたい。その為にも、道路の整備は絶対にしなければなりません。高速道路のスマートインターチェンジの新設渋滞解消のための地域道路整備。新設予定の第2東名から山中湖までのアクセス。特に、東京との中央道の渋滞解消は地元の数十年の悲願です。



前田 中央道の渋滞、小仏トンネル付近は確かに問題だね。検討しよう。

坂口 有り難うございます、大臣。宜しくお願いします。

④政府与党の責任

前田 今こそ私たちは政府与党として、国民の皆さんに信頼されなければならない。まず自らの襟を正し、本場に必要なる改革を行う。

我が日本にはもう時間がない事を私たち国会議員全員が忘れてはいけないね。

坂口 私たち政府与党も、もう国民の皆さんの期待を裏切ってははいけません。すぐにでも国会議員の定数を削減し、そして公務員の件数を見直す。

自らが襟を正す事こそが、消費税を含めた全ての議論の前提になると思います。

前田 今年は、日本の将来を左右するとても重要な国会になる。坂口君、一緒に頑張ろう。

坂口 はい、大臣。私も国のために地元のために、粉骨砕身頑張ります。今日はお忙しい中有り難うございました。

国土交通委員会委員・国土地域政策を推進する議員連盟事務局長として地元の道路、河川、トンネルを整備します。

地元の皆様の思いを

一緒に実現します！



2011 年実現したこと

2012 年推進すること



果樹農業振興議員連盟事務局長
ワイン産業振興議員連盟事務局長
として地元の特産である桃やブドウを中心
に農業支援を強く推進。

中小企業政策推進 議員連盟幹事

として地元の中小零細企業振興へ大きく貢献。



私たちの生活はこれからどうなるんだろう？子どもたちの将来は？気になる皆さん！
ぜひ坂口たけひろと「明るい未来」を語り合いませんか？

衆議院議員 坂口たけひろ

「国政報告会」



日時 1月21日（土） 15:00～（受付 14:00）

弁士 輿石 東 民主党幹事長

場所 ホテル春日居 笛吹市春日居町小松 855 TEL 0553(20)2000

日時 1月22日（日） 15:00～（受付 14:00）

弁士 前原 誠司 民主党政策調査会長

場所 うぐいすホール 都留市上谷 1888 番地 1 TEL 0554(43)1515



お問い合わせ先 坂口たけひろ事務所 富士吉田市松山 1-1-1-2

TEL 0555 (72) 8700

両会場とも駐車場に限りがありますので、皆様乗り合わせでお越し頂けますようご協力お願いします。

地元事務所

〒403-0016 山梨県富士吉田市松山 1-1-1-2

TEL 0555(72)8700 FAX 0555(72)8701

国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2

衆議院第二議員会館 721 号室

TEL 03(3508)7469 FAX 03(3508)7557

E-mail sakaguchi.takehiro@rose.plala.or.jp

ウェブサイト <http://www.sakaguchi-takehiro.jp>

ブログ随時更新中！ <http://sakaguchi-t.sblo.jp/>

坂口たけひろ

検索

前を向くには
覚悟を
決めること

